

国語科学習指導案

学習者 附属小学校1年3組 30名
指導者 加来 修子

単元名 あたらしい1ねん生あてに「ものがたりゆうびん」をまとめよう

1. 単元の目標

「ものがたりゆうびん」の内容について、いろいろな物語を読んだり、自分の体験と近い物語を選んだりすることを通して、文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想を考えながら読み、新一年生のために文章にまとめることができるようとする。

2. 言語活動

本単元の言語活動として、低学年の「読むこと」の言語活動イを具体化し、物語を読んで、物語中の内容と自分の体験を結び付けて感想を「ものがたりゆうびん」にまとめる活動を位置付けた。

【ものがたりゆうびん】

<p>物語の題名</p> <p>物語の表紙の写真</p> <p>1ねん ○○○○さんへ</p> <p>2ねん □□□□より</p>	<p>どんなお話？</p> <p>物語の大体の内容</p> <p>お気に入りの場面</p> <p>お気に入りの場面のイラスト</p>	<p>お気に入りの場面と私</p> <p>お気に入りの場面と理由を書く。 話の内容と自分のことを結び付けて感想を書く。</p>	<p>自己紹介</p> <p>あたらしい1ねん生へメッセージ</p>
---	--	---	------------------------------------

【表】 【中】 【中】 【裏】

3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。 【知(3) ク】	① 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 【C(1) オ】	① 進んで、いろいろな物語を読んで、いろいろな本があることを知ろうとし、文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習の見通しをもとうとしている。

4. 指導と評価の計画（9時間）

時	ねらい（◆）と主な学習活動（○）	評価規準（評価方法）		
		知・技	思・判・表	主体
1	<p>◆生活科の学習から、入学した時に2年生が本の紹介をしてくれたことを思い出すことをきっかけに、「ものがたりゆうびん」を新一年生に紹介したいという思いをもち、学習計画を立て単元の見通しを持つことができるようとする。</p> <p>○生活科の学習から、入学した時に、二年生が本の紹介をしてくれたことを思い出し、自分達も新一年生に本の紹介をしようという意識をもち、意欲を高める。</p> <p>○「ものがたりゆうびん」の内容項目について、考える。</p> <p>○新一年生に「ものがたりゆうびん」を紹介するため、これから学習を大まかに理解し、学習計画を立て、単元の見通しをもつ。</p> <p>○教科書の「ずっと、ずっと、大好きだよ」を聞いて、初発の感想（好きな場面+その理由）を書き、交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな物語を読むことが楽しみだ。 新一年生に好きな本を紹介できるようにがんばりたい。 </div>			• ①〈発言観察・行動観察・記録分析〉 ※全時間随時
2 ・ 3	<p>◆「ずっと、ずっと、大好きだよ」を読んで、物語の登場人物や場面、会話文「」や地の文について確認し、場面の様子に着目して内容の大体を捉えることができるようとする。</p> <p>○「ずっと、ずっと、大好きだよ」を読んで、登場人物や場面について確かめる。物語全体を通して「誰が」「どうして」「どうなった」話なのかを確かめる。</p> <p>○物語全体を通して「誰が」「どうして」「どうなった」話なのかを短い文でまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰が出てくるお話かよく分かった。 誰がどうしてどうなったのかが分かった。 </div>	• ①〈発言観察・記録分析〉	• ①〈発言観察・記録分析〉	
4	<p>◆「ずっと、ずっと、大好きだよ」のお気に入りの場面について、全文掲示に付箋を貼ったり、お気に入りの理由を伝え合ったりすることを通して、自分の考えをまとめられるようする。</p> <p>○「ずっと、ずっと、大好きだよ」のお気に入りの場面について、全文掲示に自分の付箋を貼ったり、お気に入りの理由を登場人物の会話や行動などを手掛かりに伝え合ったりして、交流する。</p>		• ①〈発言観察・記録分析〉	

	<p>○気持ちのよい交流のポイント（交流の仕方や交流する時の態度など）として、実際の様子の写真を見たり、対話しているときの言葉を知ったりすることで、全員で気持ちのよい交流をしようという意欲を高める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇が●●するところがお気に入り。わけは、◇◇な気持ちで◆◆しているからね。 ・〇〇は●●のときに、◇◇な気持ちだったと思う。だって、〇〇は●●のときに、◆◆と言っていたから。 </div>		
5 (本時)	<p>◆「ずっと、ずっと、大好きだよ」のお気に入りの場面について、自分の経験と比べたり友達と尋ね合ったりすることを通して、文章の内容と自分の経験を結び付けて感想をもつことができるようになる。</p> <p>○「ずっと、ずっと、大好きだよ」のお気に入りの場面について、自分の経験（行動や気持ち）を思い返して感想をもったり、友だちと尋ね合ったりして、自分の経験と結び付けて感想をもち、ノートにまとめる。</p> <p>○自分の経験と結びついているか確認するために、ペアで紹介し合い、相手に感想を伝え合う。</p> <p>○「お話と自分の経験をつないで感想をもてたか、ペアの感想で経験がお話とつながっていて『いいなあ』『すごいなあ』『おもしろいなあ』と思ったこと」を視点に振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇が◇◇したところが自分と同じだから、自分のこともつないで、もっと詳しく感想がもてた。 ・☆☆さんは、〇〇が●●したところがお話とは違うけどお気に入りに選んでいて、自分は□□になりそうと感想を言っててすごかった。 </div>	○①〈発言観察・行動観察・記録分析〉	
6	<p>◆自分が選んだ好きな物語について、音読したり、同じ物語を選んだ人と物語の内容を確認したりすることを通して、内容の大体を捉えることができるようになる。</p> <p>○自分が選んだ物語の音読をし、同じ物語を選んだ人と物語全体を通して「誰が」「どうして」「どうなった」話なのかを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キツネがオオカミとあそんだあと、ともだちやから本当の友だちにかわった。 ・友だちと一緒に物語を読んで、話の内容が分かるようになった。 </div>	○①〈発言観察・行動観察・記録分析〉	

	<p>◆自分が選んだ好きな物語のお気に入りの場面について、本文に印をつけたり、お気に入りの理由を伝え合ったりするようにする。</p> <p>○自分が選んだ好きな物語のお気に入りの場面について、ロイロノートにある自分が選んだ好きな物語を音読しながらお気に入りの場面に印を付けたり、お気に入りの理由を伝え合ったりする。</p> <p>○全員が安心して交流できるように困りや悩みを共有し、解決方法を考える。</p> <p>○前時までに学んだ気持ちのよい交流のポイント（交流の仕方や交流する時の態度など）について確認することで、全員で気持ちのよい交流をしようという意欲を高める。</p>		
7	<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんと話をして、◇◇な気持ちで◆◆しているから、●●するところがお気に入りってわかった。理由があると詳しくわかってよかったです。 ・○○さんと交流する時に、本を見ながら話ができる、●●のときに、◇◇な気持ちだったことを一緒に確かめられてよかったです。 		
8	<p>◆自分が選んだ好きな物語のお気に入りの場面について、自分の経験と比べたり友達と尋ね合ったりすることを通して、文章の内容と自分の経験を結び付けて感想をもつことができるようとする。</p> <p>○自分が選んだ好きな物語のお気に入りの場面について、自分の経験（行動や気持ち）を思い返して感想をもったり、友だちと尋ね合ったりして、自分の経験と結び付けて感想をもち、ノートにまとめる。</p> <p>○自分の経験と結びついているか確認するために、ペアで紹介し合い、相手に感想を伝え合う。</p> <p>○「本と自分の経験をつないで感想をもてたか、ペアの感想で経験が本とつながっていて『いいなあ』『すごいなあ』『おもしろいなあ』と思ったこと」を視点に振り返る。</p>	<p>○①〈発言観察・行動観察・記録分析〉</p>	<p>○①〈発言観察・行動観察・記録分析〉</p>
9	<p>◆「ものがたりゆうびん」のお話に関わるところを仕上げるようにする。</p> <p>○ノートやロイロノートを見ながら、「ものがたりゆうびん」をまとめる。</p> <p>○新一年生に伝わるかアドバイスをし合う。</p>		

※「ものがたりゆうびん（裏）」の自己紹介の部分は、生活科の学習の時にまとめる。

5. 並行読書材

- ① 「ともだちや」 内田麟太郎 作 降矢なな 絵
- ② 「ともだちくるかな」 内田麟太郎 作 降矢なな 絵
- ③ 「あしたもともだち」 内田麟太郎 作 降矢なな 絵
- ④ 「ごめんねともだち」 内田麟太郎 作 降矢なな 絵
- ⑤ 「あいつもともだち」 内田麟太郎 作 降矢なな 絵
- ⑥ 「いつだってともだち」 内田麟太郎 作 降矢なな 絵
- ⑦ 「おまえうまそุดな」 宮西達也 作絵
- ⑧ 「きみはほんとうにステキだね」 宮西達也 作絵
- ⑨ 「であえてほんとうによかった」 宮西達也 作絵
- ⑩ 「こんにちは たまごにいちゃん」 あきやまだだし 作絵
- ⑪ 「しゅくだい」 いもとようこ 文絵
- ⑫ 「10ぴきのかえるのうんどうかい」 間所ひさこ 作 中川道子 絵
- ⑬ 「メガネをかけたら」 くすのきしげのり 作 たるいしまこ 絵
- ⑭ 「どうぞのいす」 香山美子 作 柿本幸造 絵
- ⑮ 「100万回生きたねこ」 佐野洋子 作絵
- ⑯ 「どろんこハリー」 ジーン・ジョン 文 マーガレット・ブロイ・グレアム 絵 わたなべしげお 訳
- ⑰ 「もったいないばあさん」 真珠まりこ
- ⑱ 「ちょっとだけ」 瀧村有子 作 鈴木永子 絵
- ⑲ 「わすれもの大王」 武田美穂
- ⑳ 「ともだちになろうよ」 中川ひろたか 作 ひろかわさえこ 絵
- ㉑ 「ぐりとぐらのおおそうじ」 なかがわりえこ やまわきゆりこ
- ㉒ 「ライオンのすてきないえ」 西村敏夫
- ㉓ 「みんなとくべつ」 ジャン・ファーンリー 作 まつかわ まゆみ 訳
- ㉔ 「おおきなクマさんとちいさなヤマネくん あめのもりのおくりもの」 ふくざわゆみこ 作
- ㉕ 「とかげさんちのおひっこし」 藤本四郎

6. 本時の指導（5／9）

本時のねらい	「ずっと、ずっと、大好きだよ」のお気に入りの場面について、自分の経験と比べたり友達と尋ね合ったりすることを通して、文章の内容と自分の経験を結び付けて感想をもつことができるようとする。
評価規準	「ずっと、ずっと、大好きだよ」のお気に入りの場面について、文章の内容と自分の経験を結び付けて感想をもつことができている。
具体的な児童の姿	<p>「ぼくと同じで私も犬を飼っているところが同じで、私も犬とたくさん遊んだり散歩したりしたから男の子も遊んでいるときはきっと楽しかったと思う。」</p> <p>「ぼくと似ていて僕は虫を飼っているけど、毎日大好きだよって言ってはいないから、これからは毎日大好きだよって言って、大事に一緒にいたいと思った。」</p> <p>「私は何もお家で飼ったことがないし、大事な人がいなくなつたことはないけど、もし動物を飼うことがあれば、男の子みたいにずっとずっと大好きだよと言いたいと思った。」</p>

時間	児童の活動	○指導及び・留意点【選択・決定】【当事者意識】 ※支援をする児童への手立て ◎評価〈方法〉
6分	1. 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の振り返りや学習計画、掲示物などからめあてを想起できるようする。【選択・決定】【当事者意識】 ・前時までにまとめたお気に入りの行動や気持ちを全文掲示する。 ・複数場面ある場合は、自分の経験（行動や気持ち）とつながるかを考えて決めることをおさえる。
めあて じぶんのけいけんとつなぎながら、お気に入りのばめんのかんそうをまとめよう。		
25分	2. 自分の経験と本の内容を比べながら、感想をノートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の経験（行動や気持ち）を思い返して、ノートにまとめるようする。 <ul style="list-style-type: none"> ・個人で取り組むか友だちと取り組むか学び方は自分で決めてよいことと、途中で学び方を変えてよいことを伝える。 <p style="text-align: right;">【選択・決定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師モデルをテレビやロイロノートで見られるようにして、まとめ方に困った時の手立てにできるようにする。 <p style="text-align: right;">【選択・決定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※自分の経験とつないで考えた時に、一つも同じがない場合は、もしもの時を思い浮かべて考えてみることを伝える。 ※友だちと質問し合いながら、自分のことを思い出すゾーンには、今までに児童が質問する時に使っていた言葉をお助けカードとして設けておく。 <p style="text-align: right;">【選択・決定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中間指導として、数人の児童のお気に入りの場面とその感想を全体で共有する時間を設け、困り等を全体で確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ◎「ずっと、ずっと、大好きだよ」のお気に入りの場面について、文章の内容と自分の経験を結び付けて感想をもつことができている。 <p style="text-align: right;">〈発言観察・行動観察・記録分析〉</p>

6分	3. ペアの友だちに自分の感想を伝える。	<p>○自分のお気に入りの場面と自分の経験とつながった感想を伝える時間を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き合う時に、お話の内容と本人の経験がつながっているのが分かるか考えながら聞くように伝える。 【当事者意識】
8分	4. 本時の振り返りを行う。	<p>○本時の活動の中で児童の良い姿を価値づけするとともに、めあてに立ち返った後、本時の振り返りの視点を伝える。</p> <p style="color: red;">【選択・決定】【当事者意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りは、以下の2つの視点で行うことを伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ①お話と自分をつないで考えられたか ②友だちの感想で自分とつながっていていいなあと思ったところ <p>○数名の児童が振り返りを発表する時間を設ける。</p>